令和8年度　西東京市立東伏見小学校　学校評価計画表

8西東伏小第0083号

学校教育目標

互いの人格を尊重し、自主・自立の精神と豊かな人間性を培い、知・徳・体の調和をとりながら生涯にわたって自己実現を目指す自立した児童の育成を図る。

○心もからだも健康な子ども　　○よく考え実行する子ども（重点目標）　　○なかよくはげましあう子ども

目指す学校像（ビジョン）　**「一人一人のよさが生き、共に学び高め合っていく学校」**

【目指す学校像】
○ 児童が安心して伸び伸びと自分の力を発揮できる学校　○かかわりを大切に「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」をはぐくむ学校
○ 一人一人を大切にし、個々の課題解決を支援する学校（特別支援教育の充実）　○ 保護者・地域と手を取り合い、安全・安心な環境を創り出す学校

【目指す児童・生徒像】
○「ふれあい」「しんせつ」「みとめあい」を大切にする児童（ふ・し・みっ子）　○ 「かんがえる」「まちがえる」「ふりかえる」を基調に、全力で学びを深める子（3かえる）
○「なりたい自分」の実現に向け、主体的に学び、元気に遊び、夢をもつ児童　○ 愛校心をもち、学校や地域のよさに気付き、感謝と誇りをもって共に歩む児童

【目指す教師像】
○ 落ち着いた雰囲気の中で、魅力ある授業・夢中になれる授業を創る教師　○「あったか先生」として児童の心に寄り添い、よさや不安に気付く眼をもち、褒めて伸ばす温かい教師
○ 学校経営計画の実現に向けてPDCAサイクルを活性化させ、チャレンジし続ける教師　○ライフワークバランスに日々留意するとともに、教職員一丸となって服無事故ゼロを目指す教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

○全国社会科研究協議会の公開授業や研究協議会を通して、「ウェルビーイングを重視した持続可能な社会の創り手となる子どもの育成」について、深く研究を行うことができた。
○特別支援教室そよかぜの指導が巡回型2年目となり、より児童の実態に応じた指導を行うための基盤を整備することができた。
○地域教材である「下野谷遺跡」や「石神井川」等を活用し、ふるさと探究学習の推進及び地域学校協働活動の充実を図り、地域連携をすすめることができた。
△タブレットの更新に伴い導入されたミライシード等の活用、新しいソフトを授業や指導に生かすための研究を推進する必要がある。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		努力目標（評価基準）	成果目標（評価基準）
確かな学力の育成	問題解決的な学習を通じた主体的・対話的で深い学びのある授業の創造	○基礎的・基本的な学習の継続的な取組を基盤とした、考える力・表す力の着実な育成 ○タブレット等を活用した情報活用能力の育成と、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の推進	○「東京ベーシックドリル」「くじらタイム」「学習スタンダード」「読書旬間」の活用による基礎学力の定着 ○授業改善プランの推進と、「家庭学習の手引き」「チャレンジ家庭学習」を活用した家庭との連携 ○週ごとの指導計画へ○○タ（タブレット）マークの位置付け（週3日以上）とミライシードの積極的活用	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（6）（9）（10）（25）集計の平均が3．2以上
				3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（6）（9）（10）（25）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（6）（9）（10）（25）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（6）（9）（10）（25）集計の平均が2．4未満
		◎社会とつながり未来を創る子どもを育成する授業の推進 ◎問題解決力の育成を柱とした「ふるさと探究学習」の計画的な位置付けと推進	◎学んだことを基に、社会と自己との関わりや、社会の在り方について考える活動の充実（2月の研究発表） ○日々のめあて・振り返りの徹底と、すすんで問題を見いだし解決に向けて追究する学習の充実 ◎地域の人材・教材を活用した「ふるさと探究学習」の推進と伴走者としての学習支援の充実	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（2）（8）集計の平均が3．2以上
				3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（2）（8）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（2）（8）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（2）（8）集計の平均が2．4未満
豊かな心の育成	自尊感情と人権尊重の精神の涵養とキャリア教育の充実	○心に響く「特別の教科道徳」の授業に向けた、自らの行動、生活を振り返る活動の充実	○毎週の「特別の教科道徳」の授業における振り返りのカードやノートの充実 ◎ふれあい月間における心を育てる取組と、「いじめ防止宣言」策定を通じたいじめ防止啓発活動の充実	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	保護者アンケート項目（4）肯定的評価が8割以上
				3	具体的方策を8割以上実施	保護者アンケート項目（4）肯定的評価が7割以上
				2	具体的方策を6割以上実施	保護者アンケート項目（4）肯定的評価が6割以上
				1	具体的方策の実施が6割未満	保護者アンケート項目（4）肯定的評価が6割未満
		◎相手を思いやる気持ちと、多様性を認め相互に支え合う意識、70周年行事を通じた愛校心の醸成	○「なかよし活動」を通じた交流活動や挨拶活動、出前授業の充実と、別室支援室「こころルーム」の活用	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（15）（17）（20）集計の平均が3．2以上
		◎特別支援教室の拠点校として、一人一人の課題に応じた指導の充実	◎児童の実態に応じた特別支援教室の運営と、特別支援教室と通常学級との連携活動の推進	3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（15）（17）（20）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（15）（17）（20）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（15）（17）（20）集計の平均が2．4未満
健康と体力の育成	よりよい生活習慣に基づく健康・食育の推進と、体力の向上	○めあてに向かってすすんで取り組もうとする体育授業の充実と、日常的な運動習慣の醸成	○体力調査の課題克服、オリンピアン活用を通じた体育授業の工夫と、安全で魅力ある体育授業の推進 ○「サニーマンデー」と「ロング昼休み」の継続的実施と、年2回の一校一取組運動の充実	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（21）集計の平均が3．2以上
				3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（21）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（21）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（21）集計の平均が2．4未満
		○健康の増進と保健衛生の向上、規則正しい生活習慣の育成 ○バランスのとれた豊かで楽しい給食活動と食育指導を通じた食への意識の高揚	○健康教室等を通じた保健指導の充実と、生活振り返り週間等を通じた生活リズムの確立 ○給食放送や食育集会の実施、「給食だより」の工夫、給食食材の地産地消の推進	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（27）集計の平均が3．2以上
				3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（27）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（27）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（27）集計の平均が2．4未満
地域に開く学校	地域の環境や人材を活用した教育活動の一層の充実と活性化	◎地域の宝である下野谷遺跡を全学年の計画に位置付けるなど、地域の人材・教材を活用した活動の推進 ◎70周年記念事業を通じた、学校を核とした保護者・地域・学校関係者との連携の推進	◎下野谷遺跡を中心とした地域教材を活用した「ふるさと」意識の醸成と、対外的な学習成果の発表模索 ◎70周年記念集会や式典等を通じた、児童の能動的な取組の推進と学校関係者とのよりよい関係の構築	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	児童アンケート項目（26）集計の平均が3．2以上
				3	具体的方策を8割以上実施	児童アンケート項目（26）集計の平均が2．8以上3．2未満
				2	具体的方策を6割以上実施	児童アンケート項目（26）集計の平均が2．4以上2．8未満
				1	具体的方策の実施が6割未満	児童アンケート項目（26）集計の平均が2．4未満
		○コミュニティ・スクールとして地域に開かれた取組の充実と地域学校協働活動の推進 ○情報発信の充実と、アンケート等を通じた短期スパンでのPDCAサイクルの活性化	○年5回の学校運営協議会の充実と、地域学校協働活動による協働体制の確立 ○地域、保護者を基盤とした様々な関係団体との連携と、教育課程内外の取組の充実 ○ホームページの日常的な更新や「すぐーる」の積極的な配信と、児童・保護者からのアンケートの活用	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	保護者アンケート項目（8）（10）肯定的評価が8割以上
				3	具体的方策を8割以上実施	保護者アンケート項目（8）（10）肯定的評価が7割以上
				2	具体的方策を6割以上実施	保護者アンケート項目（8）（10）肯定的評価が6割以上
				1	具体的方策の実施が6割未満	保護者アンケート項目（8）（10）肯定的評価が6割未満
学校力の強化	「働きやすさ」と「働きがい」の両立	○業務のICT化、校務分掌の効率化、会議・業務のスリム化等を通じた勤務時間縮小の模索	○時間外在校等時間の1か月45時間以下100%と、1年間平均30時間以内の目標設定 ○年間年次有給休暇の平均所得日数10日以上の目標設定	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	教職員の満足度3.1～4.0
				3	具体的方策を8割以上実施	教職員の満足度2.1～3.0
				2	具体的方策を6割以上実施	教職員の満足度1.1～2.0
				1	具体的方策の実施が6割未満	教職員の満足度0～1.0
		○「西東京あったか先生」の推進と、教職員スタッフの人権意識向上、服務事故防止の徹底	○毎月の「あったか先生チェックシート」・毎学期の個人情報徹底週間を活用した自己点検と、毎学期の服務事故防止研修の充実	4	全ての具体的方策を滞りなく実施	教職員の満足度3.1～4.0
				3	具体的方策を8割以上実施	教職員の満足度2.1～3.0
				2	具体的方策を6割以上実施	教職員の満足度1.1～2.0
				1	具体的方策の実施が6割未満	教職員の満足度0～1.0